



福島潟の自然を共に守り育む仲間

NPO法人

ねとわく福島潟(会員募集中!)

〒950-3328 新潟市北区前新田乙493

水の駅「ビュー福島潟」内(3階)

TEL.FAX:025-387-0284 E-mail:fukusimagata@ybb.ne.jp

2026.6.1号

タイムカプセル発掘ドキュメント!



3月1日(日)

自然学習園の池

タイムカプセル掘り上げ



2012年に埋めた
タイムカプセル



深く埋めておりました



4月29日
開封

「ねむの木から1m50cm!」

その一言を手がかりに掘り上げたタイムカプセルが開けられ、5月24日の総会の後、あの時を共にした方たちに、自らしたためた手紙が渡りました。



なかなか開きません

14年の時を経て...お届けします



無事確保!



特定非営利活動法人
ねとわく福島潟 定例総会
2012年タイムカプセル開封

14年ぶりに手にした自分への手紙を手に...

裏面もご覧下さい

潟案内



ゴールデンウィークを中心に、潟案内に397名の方たちを、ザリガニ釣りに150名の皆さんをご案内しました! 尾形さん、斎藤さん、佐藤さん、堀さん、皆川さん、山本さん、お疲れ様でした!



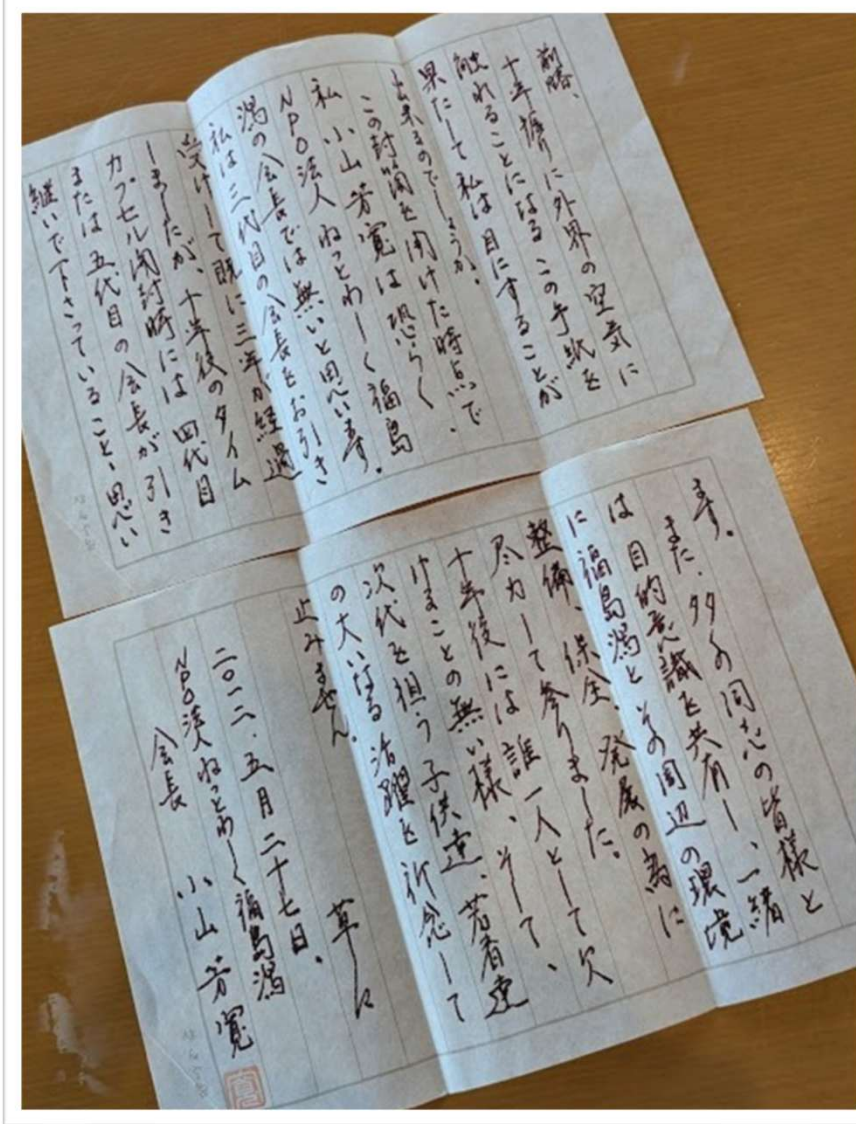
サワオグルマ



カキツバタ



アナギトラノオ



第3代 ねっとわーく福島潟
会長 小山芳寛氏が、今を生
きる我々ねっとわーく福島潟
会員に向けて14年前に、手
紙をしたためてくださっていま
した。

その手紙を、尾形光弘 第
6代理事長が代読しました。
「目的意識を共有し、一緒に
福島潟とその周辺環境整備
、保全、発展の為に尽力し
て参りました。」という言葉
を聞いて、「私たちも同じ気持
ちで、頑張っていますよ。」と
つぶやいたのではないでしょ
うか。



総会の後、掘り出したカプセルから手紙を取り出すシーンを再現！カプセルの蓋は接着材で嚴重にパッキングされていたので、中のビニール袋は新品同様でした。そして、参会者一人一人が自分の手紙を読み、笑顔あり、じんわりとこみ上げるものもありの感動的な時間を過ごすことができました。

「10年後は、息子が結婚して、孫も生まれて...。」「はい、孫たちとキャンプに来ることができました。」

「10年後は、サワオグルマやカキツバタもたくさん咲いて、たくさんの市民が潟を訪れているでしょう...」
「おっ！ そうなってるじゃん！」

「10年後も、福島潟の絶滅危惧種を絶やさず守り続けているでしょう。しかし、一番の絶滅危惧種は、こうして何の代償もないにもかかわらず、使命感を持って潟を守ろうとしている人びとかもしれませぬ。」「・・・」